

# 糖尿病など解説



## 西の京病院で健康フェス

糖尿病の予防など健康について考える「健康フェスティバル」が14日、奈良市六条町の

西の京病院メビウスホールで開かれた。市民ら約130人が検査体験などで健康をチェッ

糖尿病と歯周病についての講演などがあつた「健康フェスティバル」は14日、奈良市六条町の西の京病院メビウスホール

クをした。

同日の「世界糖尿病デー」にちなんで、同病院が毎年開催。今回で6回目。

同病院の高比康充（内科）、中塚伊知郎（歯科）両医師が糖尿病と歯周病について講演し、二つの病気が互いに影響を与えているメカニズムなどを説明。「糖尿病の予防の基本は食事と運動」と

話した。

同病院の高比康臣理事長らも参加して全員で健康体操を実施。参加者は頸（けい）動脈エコー検査体験や、体力測定などをした。

広報営業部長の谷村

光司さんは「糖尿病は合併症が怖い。病気がかかってからでは遅いのでしっかりと予防知識をつけてほしい」と話していた。

歯周病は命を脅かす感染症

医療法人康仁会「西の京病院」(奈良市六条町、高比康臣理事長)で14日、地域住民に健康について考えてもらう催し、「第6回健康フェスティバル」が開かれた。「糖尿病と歯周病について」をテーマに、同病院内科の高比康充医師らが講演し、約130人の参加者を前に糖尿病と歯周病の関連や予防法などについて語った。

高比医師は「日本では60歳以上の4人に1人が糖尿病、ないし糖尿病予備軍といわれている」と紹介。糖尿病が悪化し、血糖値が高い状態になると免疫力が低下し、あらゆる感染症になりやすく、かつ重症化する危険性を訴えた。

糖尿病の患者がかかりやすい感染症として肺炎を挙げ、「まずは肺炎にならない予防をする必要がある」とした上で、「最近では歯周病予防も重要だということが分かってきた」と紹介。「歯周病があると、寝ている間にばい菌を多く含んだ唾液が気管や肺に流れ、誤嚥性肺炎になることが問題視されている」と指摘した。

最後に「歯周病は歯が抜けるだけでなく、肺炎などを引き起こす命を脅かす感染症ということを知っておいて」と訴えた。歯周病予防として、こまめな歯磨きや、定期的な歯科への受診を呼び掛けた。

西の京病院 健康フェスに130人



糖尿病と歯周病の関連や予防法などを紹介した高比医師の講演＝西の京病院で